

映画「第4の革命－エネルギー・デモクラシー」緊急ロードショーのご案内



<http://www.4revo.org>

ドイツを「脱原発」に導いたドキュメンタリー映画が12月17日、日本上陸！



3.11 東日本大震災が引き起こしたフクシマ原発事故を受け、世界に先駆けて「脱原発」をドイツ決定したことは当事国日本を驚かせた。なぜドイツは早々とエネルギー・シフトを実現したのだろうか？

ドイツを「脱原発」決定へと導いたのが、ドキュメンタリー映画「第4の革命－エネルギー・デモクラシー」だ。2010年にはドイツ全土で上映され、異例の13万人を動員。2010年、最も観られたドキュメンタリー

なる。3.11後にはテレビ放映され、200万人が視聴。一気にドイツの再生可能へのエネルギー・シフトを決断させることとなる。100%再生可能エネルギー・シフトは可能だ！2011年12月17日、ヒューマントラストシネマ渋谷（東京都渋谷区）にて、いよいよロードショー。エネルギー新時代の幕が明ける！

「第4の革命」に登場する世界の再生可能エネルギーの未来を担うキーパーソンたち

◆ヘルマン・シェア氏



ヨーロッパ太陽エネルギー協会会長。ドイツ国内で電力会社へ再生可能エネルギーの定額買取りの義務付けを法案化するなど、ドイツを再生可能エネルギーの世界的リーダーへと導いた人物。

◆イーロン・マスク氏



電気自動車ベンチャー
テスラ・モーターズ会長。
また、PayPal社の前身であるX.com社を設立した人物でもある。

◆ムハマド・ユヌス氏



バングラデシュのグラミン
銀行元総裁、経済学者。
マイクロクレジットの創始者。
ノーベル平和賞受賞。

「第4の革命－エネルギー・デモクラシー」とは？

「アル・ゴア氏の不都合な真実への前向きな回答」－ドイツ Zitty誌

爆発的な風力発電導入を実現したドイツの1990年の電力買い取り法、そして2000年にドイツで制定され、その後太陽光発電の導入の起爆剤となった「再生可能エネルギー法」。これら2つの法律を制定させた中心人物こそ『第4の革命－エネルギー・デモクラシー』のナビゲーターである、ヘルマン・シェア氏である。この映画はシェア氏の提案により4年がかりで完成。2010年ドイツで最も観られ、その後のドイツのエネルギー政策に影響を与えたドキュメンタリー映画である。

太陽エネルギー、風力、水力、地熱エネルギーは、世界中の誰でも平等に利用できる自然エネルギー源だ。そしてこれらのエネルギーは持続可能で、お金もかからず、尽きることなく長い間利用することができる。この映画では、著名な環境活動家やノーベル賞受賞者、政治家らによって、これから30年以内に100%再生可能エネルギーへのエネルギー・シフトが可能だということを、様々な角度から分析し、紹介する。

◆2011年12月17日（土）よりロードショー！

ヒューマントラストシネマ渋谷 TEL. 03-5468-5551 http://www.ttgc.jp/human_shibuya/

当日料金：一般 1800円、学生 1500円、シニア 1000円、毎週水曜日 1000円均一

「第4の革命 ～エネルギー・デモクラシー」映画概要

監督：カール・A・フェヒナー

製作年：2010年 時間：83分 フォーマット：16:9 / HD

出演者：ヘルマン・シェア、ムハマド・ユヌス、イーロン・マスク、ビアンカ・ジャガー他

製作国：ドイツ、デンマーク、ノルウェー、フランス、スペイン、マリ、バングラデシュ、アメリカ、ブラジル、中国

製作：フェヒナーメディア

配給・宣伝：ユナイテッドピープル

協力：東京ドイツ文化センター greenz.jp

web サイト：(日本語) <http://www.4revo.org/> twitter: @4thre

メッセージ

闇のエネルギーが占めている暗黒の日本を晴らすのはこの映画しかないでしょう！日本の未来のエネルギーの行方を決定づける、今こそ *MUST SEE* の大作をご覧あれ！

— 丹羽順子(koko) / J-WAVE LOHAS SUNDAY ナビゲーター

この映画を見れば、自然エネルギーは必然。世界では始まっているのだから、あきらめるための理由はもういらない。カネに支配された今を、ひとりひとりが生きやすい未来に変えられる。革命に乗り遅れて朽ちてゆくか、革命の先を生きて幸せになるか、あなたの選択が後続する人たちへの物語になるだろう。

— 高坂勝 / 「たまには TSUKI でも眺めましょ」オーナー、「減速して生きる—ダウンシフターズ」著者

監督 カール・A・フェヒナー

1953年ドイツ生まれ。ジャーナリスト、監督、プロデューサー。1989年よりフェヒナーメディア社CEO。16歳の頃から映像制作を学ぶ。22歳の頃にはサハラ砂漠を車で縦断する旅に出る。大学ではメディア学を学ぶ。

フリーランス時代はARDの海外特派員として戦争報道。湾岸戦争の取材等を行う。1983年、長女が誕生したことを機にフリーランサー及び平和活動家として数々のデモに参加。中距離核弾頭ミサイル配備や核廃棄物輸送反対デモに参加し、拘束された経験もある。1991年より方針転換。戦争報道等、悲惨な状況を伝えるより、解決方法を提示したいと、1991年より持続可能性（サステナビリティ）をテーマにTV番組やドキュメンタリー映画を制作。



2010年、4年の歳月をかけて製作したドキュメンタリー「第4の革命」は、ドイツで13万人を動員。2010年ドイツで最も観られたドキュメンタリーとなる。当映画はドイツ国内で150万ユーロの寄付を企業、個人から集めて制作。3.11東日本大震災以後、ドイツのTV局、ARDで放映され、200万人が観覧。ドイツの脱原発に一定の影響を与えた映画となる。

エネルギー・シフト・キャンペーン！日本全国で上映会を！

100%再生可能エネルギー・シフトを実現するために、全国で「エネルギー・シフト・キャンペーン」を展開します！映画「第4の革命」を日本全国の47都道府県で2012年1月14日（土）一斉にプレミア上映会（初上映）を開催する上映運動します。只今、「イベントパートナー」を募集しています。

本映画に関するお問い合わせ先

ユナイテッドピープル株式会社 関根・畠山

所在地：千葉県いすみ市岬町榎沢 1021-5

TEL: 0470-62-6129 FAX: 0470-87-2215 e-mail: film@unitedpeople.jp

映画HP: <http://www.4revo.org/> 会社HP: <http://www.unitedpeople.jp/>